

「鳥取県立図書館の目指す図書館像(改定版)等に関するアンケート」集計結果 (平成27年度第7回県政参画電子アンケート)

1 調査概要

- ・テーマ : 「鳥取県立図書館の目指す図書館像(改定版)等に関するアンケート」
- ・実施期間 : 平成27年12月16日(水)から平成27年12月28日(月)
- ・対象 : 県政参画電子アンケート会員
- ・回答 : 646名 / 816名 (回答率 79.2%)

2 アンケート調査目的

鳥取県立図書館(鳥取市尚徳町101)では、ミッション(使命)を「県民に役立ち、地域に貢献する図書館」とし、その実現のための活動を3つの柱としてまとめ、様々なサービスを提供させていただいています。鳥取県立図書館では、この取組みについて内容の見直しを考えています。そこで、今後充実させていくべきサービスなどについてアンケートを実施いたします。

3 アンケート内容

- 問1-1 「仕事・地域活性化への貢献」について →できている、できていない、わからない
問1-2 「豊かな暮らしへの貢献」について →できている、できていない、わからない
問1-3 「子どもの読書推進」について →できている、できていない、わからない
問1-4 「生涯学習への貢献」について →できている、できていない、わからない
問1-5 「郷土資料の活用と発信」について →できている、できていない、わからない
問1-6 「環日本海諸国との交流支援」について →できている、できていない、わからない
- 問2 県立図書館が図書館像を実現していく上で、今後重点的に力を入れるべき項目、期待するサービス →16項目から選択(複数回答可)
- 問3 問2でその項目を選択した理由(自由記載)
- 問4 問2の項目以外に、今後県立図書館において必要又は充実させるべきサービス(自由記載)
- 問5 最近(ここ2,3年)の県内の図書館の利用の有無
問6 日頃一番よく利用する図書館はどこか
問7 図書館の主な利用目的
問8 最近(ここ2,3年)の県立図書館の利用頻度
問9 普段の情報の取得先
問10 回答者の職業

【問1-1】「仕事・地域活性化への貢献」について

(県立図書館の主な成果)

○ビジネス支援サービスの充実

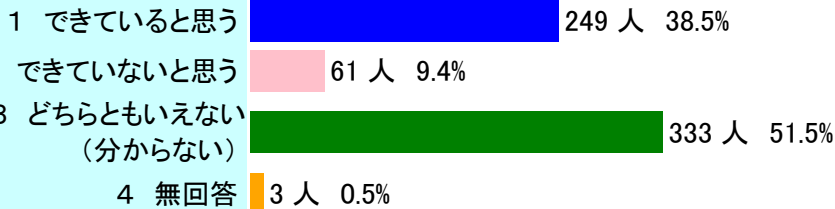
- ・米子市・倉吉市立図書館、各産業支援機構との協定締結を行い、市町村図書館におけるビジネス支援サービスの体制を強化できた。
- ・図書館のビジネス支援機能を活用し起業や商品開発につながった事例も生まれてきている。
- ・NHKの情報ニュース番組でビジネス支援サービスの取組が取り上げられるなど、県内外にビジネス支援機能をアピールできた。

○働く気持ち応援サービスの充実

- ・商工会議所などが実施する創業塾等の講習の際に情報を提供し就職支援を行った。
- ・労働問題、資格取得、就職・転職、研修・講習会案内など関係する各分野の図書やパンフレットを一ヶ所にまとめて配架する「働く気持ち応援サービス」のコーナーを設置し必要な情報をワンストップで提供した。

○県政・地域への貢献

- ・平成17年に県庁図書館を開室し県庁職員等の政策立案に資する資料提供を行っており、県庁図書館の利用者も1500人を超えた。



1 「仕事・地域活性化への貢献」が「できている」と回答した人の主な意見

- ・NHKのニュースなどで起業や商品開発に役立ったとよく取り上げられている。
- ・大学生にとっては就職支援までやってくれてありがたい。
- ・利用している人は利用している。さらに活用する人が増えれば。
- ・分野ごとの図書やパンフをまとめておいてあって便利。配置がわかりやすく、探しやすくなった。
- ・パンフレットも目に付くところにあり、講演会も定期的で開催している。職業相談、専門書籍が充実。
- ・経営管理、企業統治など最重要情報源として活用させてもらっている。
- ・起業や商品開発だけでなく、地域での催事の支援など、仕事ではない地域活性化支援もあれば。
- ・情報が有効に活用され、利用者が満足できるように、アドバイザー機能の強化が必要だと思う。

2 「仕事・地域活性化への貢献」が「できていない」と回答した人の主な意見

- ・利用者は限定的ではないのか。一部の人しか活用できていない。
- ・本を借りるところという役割を超えた取り組みは少ない。
- ・サービス内容はわかるが、貢献しているとは言い難い。ただ置いているだけ。やっているだけ。
- ・ほとんど知らない。図書館が何人の仕事に貢献したのかデータを取って公表してほしい。

3 「どちらともいえない(分からない)」と回答した人の主な意見

- ・あまり県立図書館を利用しないのでわからない。
- ・そもそもこのような取組をしていることが知られていない。
- ・どれだけ県民に理解され、活用されているかを普段見聞きしない。
- ・全国的にも注目されているのは知っているが、なにがどうすごいのかわからない。
- ・具体的な数値目標を立てて取組をすると成果(貢献度)がわかりやすいのでは。
- ・県立図書館は利用しにくい雰囲気がある。品ぞろえも一般市民向けではない。
- ・中西部の人には利用しがたい。遠く離れた町村には県立図書館の情報が来ない。

【問1-2】「豊かなくらしへの貢献」について

(県立図書館の主な成果)

○医療・健康情報サービスの充実

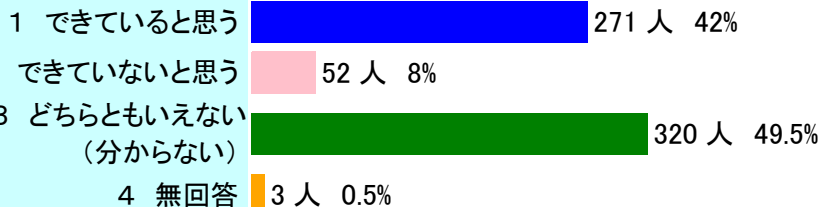
- ・健康長寿をテーマに県内4カ所の図書館で講演会を開催し関連する資料の利用促進につながった。
- ・闘病記文庫のコーナーをリニューアルし、目的とする闘病記を見つけやすくすることでコーナー利用者が増加。

○福祉情報サービスの充実

- ・中高年層に関心の高い各分野の図書やパンフレットを7つのテーマにまとめて紹介する「いきいきライフ応援コーナー」を開設したところ、60歳代の方の図書貸し出しが増加した。
- ・県立図書館が企画し実施していた「あたまイキイキ音読教室」(昔話や詩を音読する会)は、今では県内15の市町村図書館でも実施されている。
- ・手話言語条例制定を受けて「手話コーナー」の設置や「手話で楽しむおはなし会」を開催。
- ・携帯音楽プレーヤーでの録音図書の貸出を始めたところ、録音図書の貸出が大幅に増加した。

○法情報・困りごと支援・くらしの安全に関するサービスの充実

- ・法律情報コーナー(暮らしの法律あれこれ)等を開設し、法律に関する本や情報の提供を行った。
- ・行政書士会、司法書士会、法テラスと共催で法律相談会を開催や関連資料展示を行った。



1 「豊かなくらしへの貢献」が「できている」と回答した人の主な意見

- ・ニーズに合わせた多彩な取組がされている。
- ・分かりやすく分類分けされていて、よく利用させてもらっている。
- ・法律情報コーナーや手話コーナーなどの特集コーナーは、目について手に取る気になるので良い。
- ・音読教室は高齢者にとってはとてもいい取組。町内でも始まっており広がりが見えている。
- ・録音図書の取組を初めて知った。素晴らしい取組。利用したい。
- ・豊富な蔵書と気軽に立ち寄りやすい図書館づくりが、豊かなくらしへの貢献につながると思う。
- ・専門の書籍を司書が案内してくれ利用しやすい。
- ・専門家への無料相談会は良い取組だと思う。法律相談は利用しやすく良いのもっと頻繁に。
- ・乳児連れでも寄りやすい図書館は心の栄養を子どもと保護者にくれる存在。
- ・興味のあるテーマの講演会があって参加したが参考になった。

2 「豊かなくらしへの貢献」が「できていない」と回答した人の主な意見

- ・もっと図書館を利用させるような方策を考えるのが先では。どれだけ取組を周知できていたか疑問。
- ・健康情報サービスは県立図書館で必要なのか。若い世代が関心を持てるようなことをしてほしい。

3 「どちらともいえない(分からない)」と回答した人の主な意見

- ・取組内容について初めて聞いた。このような取組をしていることを全く知らなかった。
- ・せっかくの取組を知らない人が多いと思う。サービスのPRが必要。
- ・おはなし会など、本に触れる機会は大切なので積極的に行ってほしい。
- ・行ければ豊かな時間が過ごせるかと思うが、子どもがいると行くことも制限される。
- ・駐車場からの導線をもう少し工夫すると高齢者も利用しやすいのでは。
- ・講演会は健康長寿をテーマにするのではなく、本の楽しみ方とか、読み方、解釈の仕方を。
- ・図書館の方から外に出て行って、どういふことに使えるかヒントを与えては。

【問1-3】「子どもの読書推進」について

(県立図書館の主な成果)

○子どもの読書推進のための環境整備

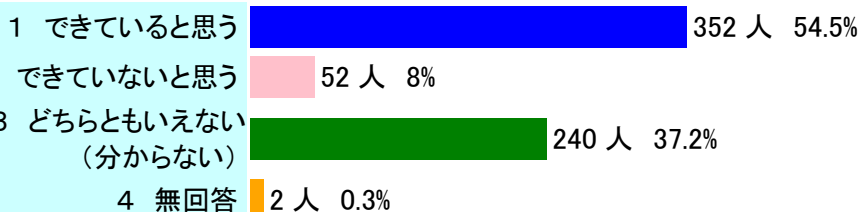
・「幼児の成長を育む本の講座」や「児童生徒の学ぶ意欲を育てる講座」など幼稚園・保育所・学校図書館関係者対象に研修講座を開催することで、子どもの読書促進につながり結果的に児童図書の個人貸出が増えた。

○学校図書館への支援

・県内すべての県立高校へ訪問相談を実施したことで高等学校への貸出冊数が前年度の1.5倍に増加した。
・市町村図書館と学校図書館との連携推進に取り組んだり、学校図書館関係の研修を行う等により市町村を通じた学校図書館関係の利用が増加した。

○市町村立図書館と連携した支援

・市町村図書館等への出前研修や訪問相談を実施したことで各図書館機能の向上と貸出冊数の増加につながった。



1 「子どもの読書推進」が「できている」と回答した人の主な意見

- ・実際に貸出数が増えている。子どもたちが本に触れる機会が増えていることを実感する。
- ・県内小中高での朝読が浸透していると思う。それに図書館のバックアップがあるのはいいこと。
- ・子ども向けコーナー充実や市町村図書館との連携などにより子どもの読書の選択肢を増やせている。
- ・玄関近くに児童コーナーがあるのは、利用への懸け橋として大切なこと。
- ・子ども向けのイベントや読み聞かせも多くとても良い。
- ・おススメの本が見やすく手に取りやすい位置にある。読書手帳も読書に関する関心を高めている。
- ・県・市町村・民間を含めた読み聞かせの情報がわかる場があるとうれしい。
- ・学校でも公共図書館の本を読めると子どもたちが喜んでいて。市町村図書館と学校の連携は有意義。
- ・学校への取組で保護者も読書の大切さについて理解が深まっていると思う。
- ・司書の知識が高く、子どもの年齢・興味にあった本を提案してくれ、相談しやすい。

2 「子どもの読書推進」が「できていない」と回答した人の主な意見

- ・読書をしていない。貸出冊数が増えたと言っても、学校から借りてきてもほとんど読んでいない。
- ・10分間読書、学校図書館への専任司書配置でどれだけ学力が向上したというのか。

3 「どちらともいえない(分からない)」と回答した人の主な意見

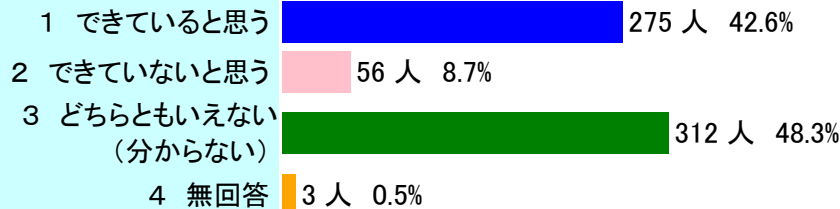
- ・親のための読み聞かせ講習のようなものが活発になっていけばいいと思う。
- ・そのような事業をしているのを知らなかった。もっと宣伝すると思う。
- ・おはなし会だけでなく、親子がゆっくり読めるスペースがあったらありがたい。
- ・短期継続的な朝読よりも、学校への図書館からの協力によって、時間をしっかり取った「読む楽しさ」を教える機会をもっといただけたらいいと思う。
- ・学校図書館が充実すると子どもたちが本に親しみやすくなると思うので、一層の支援の充実を。
- ・研修会の参加者がまだ少ない。関係者が業務の一部として受講できないのが問題だと思う。
- ・保育園の図書コーナーはひどい状態。司書が保育園に出前できるような体制を取っては。
- ・市町村図書館では子どものすがたをあまり見かけない。

【問1-4】「生涯学習への貢献」について

(県立図書館の主な成果)

○生涯学習としての読書推進

- ・ 図書展示やコーナーのリニューアルによりマスコミで取り上げられる回数が増加し図書館知名度が上がった結果、図書貸し出し冊数が増加した。
- ・ 年間を通じて資料購入を行うことで、資料の新陳代謝が進み、「くらしに役立つ図書館推進事業」をはじめ、実生活に役立つ地域の情報センターを目指す各事業を支える資料の整備が進んだ。



1 「生涯学習への貢献」が「できている」と回答した人の主な意見

- ・ 話題を作り、図書館へ足を運ぶ機会を作っていると思う。
- ・ 公開講座など、たくさんの学習機会を提供している。
- ・ 図書展示は目に付きやすく、面白いネタが選ばれていて、自分が普段読まないような本が見つかる。
- ・ 子どもからお年寄りまで使いやすい図書館である。特に高齢者が多く利用している。
- ・ 年配にも読みやすい大活字本が増えたと思う。
- ・ 生涯学習のための本がたくさんそろっている。学習で使用したい本が揃っている。
- ・ いつでも行けば必要な資料があるという安心感がある。
- ・ 借りたい本を他県などからも取り寄せていただけるので、専門分野の学習もできる環境は素晴らしい。
- ・ さらなる学習意識の向上に努めてほしい。
- ・ ニーズの調査、その対応を情報発信してほしい。多様な、多目的への対応も必要かも。
- ・ 立地や駐車場の有無、雰囲気など図書館を利用しにくい要因もある。

2 「生涯学習への貢献」が「できていない」と回答した人の主な意見

- ・ 専門分野に通じるような書籍の蔵書が少ない。
- ・ 本をあまり読まない人への読書推進をしていくべき。
- ・ 具体的に何をしているのか情報が全く入ってこない。
- ・ コーナーがわかりにくい、知りたい情報の本が少ない。

3 「どちらともいえない(分からない)」と回答した人の主な意見

- ・ もっとそれぞれの分野に分けたコーナーを提供してほしい。
- ・ 広報が届いてこない。もっと情報発信すべき。
- ・ 講演会、講習会の開催が少ない。開催のPRももっと積極的にやってほしい。
- ・ 複数の人が共通のテーマで情報交流をする取組があれば、そのためのたまり場として図書館を。

【問1-5】「郷土資料の活用と発信」について

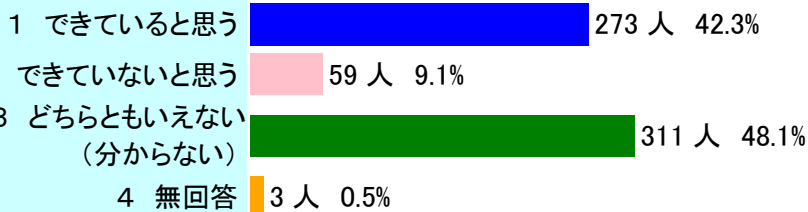
(県立図書館の主な成果)

○ 郷土資料の収集・保存

- ・資料の長期保存のため郷土新聞のマイクロフィルム化を実施した。
- ・地元新聞の記事検索サービス提供、県内研究機関等が発行する研究誌のデータベース化を推進した。

○ 郷土資料の活用・伝承

- ・鳥取県の優れた文学をはじめとする文化、自然、人物に関する図書などを展示・情報発信する「ふるさと鳥取コーナー」を開設し、郷土についての理解を促すことができたとともに小中学校生への資料案内につながった。
- ・郷土の人物をわかりやすく、より親しみやすく紹介するため、「まんがで読む鳥取県 郷土が生んだ文学者たち」を作成することでまんがを通じて、郷土資料の活用や資料整備を進めることができた。



1 「郷土資料の活用と発信」が「できている」と回答した人の主な意見

- ・鳥取県に来て、地域のことを知ろうとしたときにとても活用できた。
- ・資料の長期保存は大切なことであり、マイクロフィルム化はいい取組だと思う。
- ・自分の地元を知る上で、漫画は子どもの興味を引きやすいし、わかりやすくいいと思う。
- ・デジタルデータ化して、ネット上でも閲覧できるようにしてほしい。
- ・新聞記事の検索サービスは便利だが知らなかった。もっと周知した方がいい。
- ・テレビ局等の映像資料の収集も、テレビ局と連携してやってほしい。
- ・ふるさと鳥取コーナーは、誰でもすぐにわかって良い。いろんな専門コーナーを作ってほしい。
- ・2階に行くと親切に調べて丁寧に対応してくれる。
- ・たいへんきめ細かく都度都度に取り組んでいる。図書館に行くたびに企画や関連図書が目につく。
- ・できれば古地図の閲覧、複写が容易になればさらに活用が膨らむ。

2 「郷土資料の活用と発信」が「できていない」と回答した人の主な意見

- ・郷土資料コーナーが玄関から奥にありすぎる。
- ・2階は利用されている人が少なく、何があるのかアピールが足りないのかもしれない。
- ・存在が県民に認知されているとは思えない。
- ・まだまだ郷土について知らない人はいる。
- ・郷土のことを知らない人が多い。まだ広報できていない。
- ・自分は全く興味がない。興味がない人が多いのであれば予算をつけなくてもいいのでは。
- ・もう少し各種の資料を自由に閲覧可能にする工夫がほしい。
- ・デジタルアーカイブスで公開してほしい。

3 「どちらともいえない(分からない)」と回答した人の主な意見

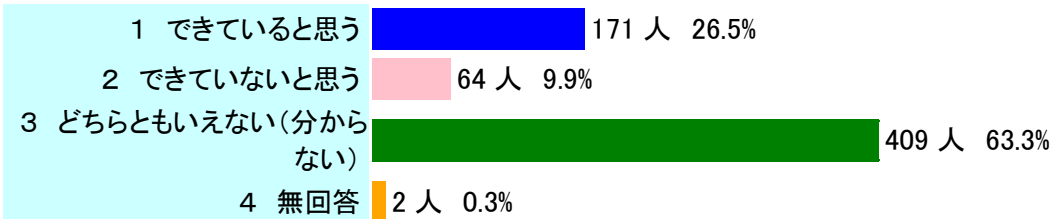
- ・鳥取ゆかりだから読もうとはなかなか思わないので、作品の魅力をさらに発信すると思う。
- ・郷土の貴重な資料を適切に保存するのは大事だと思うので力を入れてさらに進めてほしい。
- ・閲覧する人が限られていると思うので、もっと他の本に予算を使ってほしい。
- ・事業自体を知らなかった。身近に感じない。広報が聞こえてこない。
- ・どんなレベルの資料、本があるのか伝えていただきたい。
- ・公文書館とのすみ分けが不明。

【問1-6】「環日本海諸国との交流支援」について

(県立図書館の主な成果)

○環日本海諸国への理解促進

- ・県立図書館内に「環日本海交流室」を開設し、中国・韓国・ロシア沿海地方に関する資料を常時提供を行っている。また、同室の図書を活用する図書館が増え貸出も増えた。
- ・中国・韓国・ロシアの絵本を中心に、外国語と日本語で読み聞かせをしたのち、外国の伝統・文化などを紹介する「外国語で楽しむえほんのじかん」を行うことで、外国の文化を知っていただくとともに、来室者の増加につながった。



1 「環日本海諸国との交流支援」が「できている」と回答した人の主な意見

- ・外国人に日本の文化を紹介する力も育てられたらいいと思う。
- ・本から中国・韓国・ロシアの情報を知ることができるいい機会になっている。
- ・図書館の2階は入りづらい。近寄りやすい雰囲気がある。
- ・交流室は世界を知るのに手に取りやすい興味深い本が揃っていて居心地いい。
- ・書店では手に入りにくい外国の本があるのは良い。
- ・外国語での読み聞かせは興味がある。保護者や子どもが興味を持つきっかけになっていると思う。
- ・片山知事以来の取組をもっと広げるきっかけづくりをすべき。
- ・係員が親切に対応してくれる。図書のガイダンスも的確。
- ・環日本海だけでなく、いろいろな国の文化を知ることがこれからは大事になる。

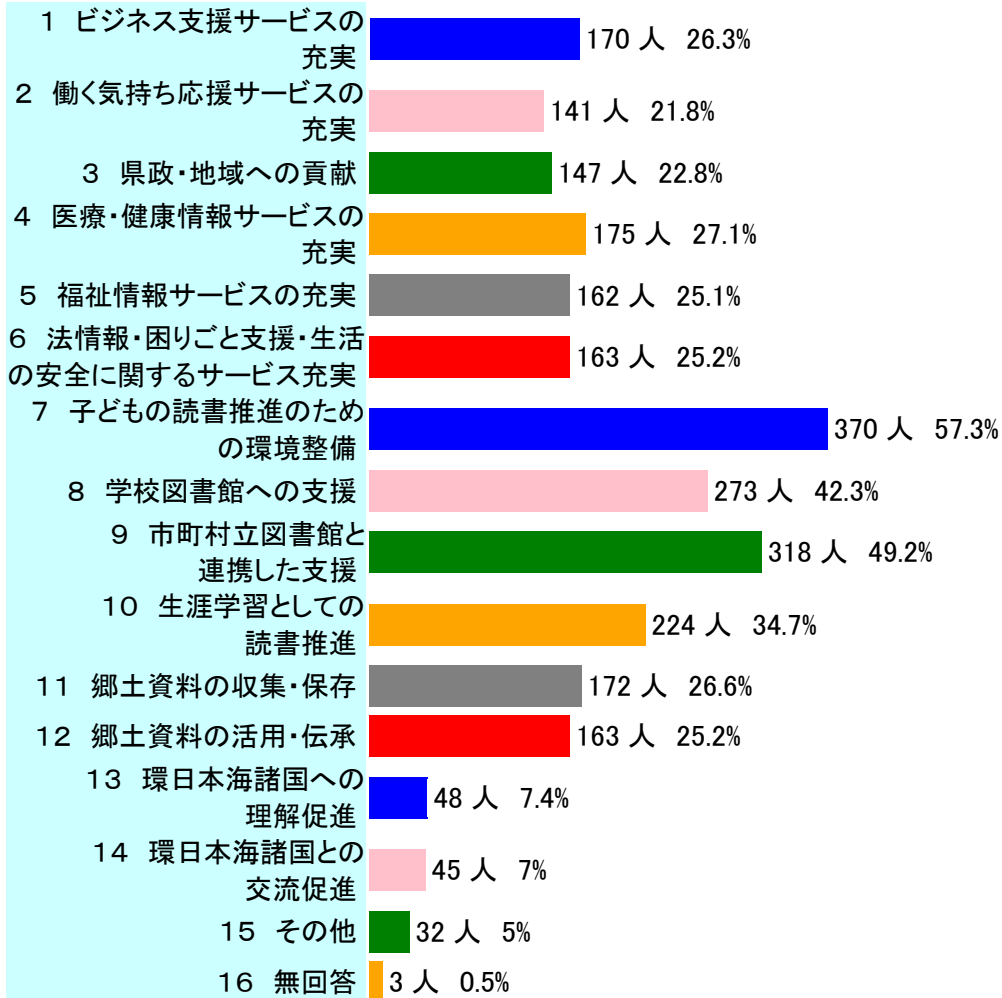
2 「環日本海諸国との交流支援」が「できていない」と回答した人の主な意見

- ・環日本海交流室の利用者が少ない。
- ・広報不足。国際理解を推進したいなら、国際交流会のような外国人と触れ合えるイベントを企画すべき。
- ・県民や来館者の関心が薄いのでは。それらの地域のニュース・話題に即応した企画や展示をその都度実施して、マスコミに広く流すのも一手だと思う。

3 「どちらともいえない(分からない)」と回答した人の主な意見

- ・取組み自体を知らなかった。広報が届いてこない。
- ・この事業が本当に必要なのか疑問。なぜ館内に独立した室を設けるのか。
- ・絵本コーナーに外国語出版の書籍が置いてあることがまだ広まっていない。
- ・環日本海諸国の認知、理解に役立っているとは思いますが、交流支援についてはどうか。
- ・反日的な側面を伝える本も扱うべき。
- ・韓国の資料は読みやすいものが充実しているが、中国・ロシアはわかりにくい。
- ・環日本海諸国の一般常識の違いの本があればいいかなと思う。
- ・県民のすべてが環日本海諸国を好きなわけがなく、拒否感を持つ人も多い。そういった国の文化を税金を使って紹介するのはどうか。

【問2】県立図書館が図書館像を実現していくうえで、今後重点的に力を入れるべき項目・期待するサービスはどれですか。(複数回答可)



「15 その他」の主な内容

鳥取大学との連携強化・大学生向け企画、不登校児の居場所、電子書籍の導入、作家を招いての講演会、行事等の広報活動を強化すべき、分館の設置、本の量や種類の増加、本の読み方面白い方講座

【問3】「重点的に力を入れるべき項目、期待するサービス」に選んだ主な理由(1位～3位についてのみ)

1位 「7 子どもの読書推進のための環境整備」 57.3%

- ・デジタル化が進む中で、子ども達の本に触れる機会が減っているから。
- ・小さい時から本を読むことは、その後の人生にとっても重要だから。
- ・本は子どもの発達、学習能力に確実にプラスになるから。

2位 「9 市町村立図書館と連携した支援」 49.2%

- ・遠い地域の住民にも県立図書館のサービスを実施してほしい。県立の本を借りられるのは便利。
- ・図書館は住民側に出かけていくべきと考える。市町村の公民館等との連携もいいのでは。
- ・身近にある地元の図書館をもっと発展・充実させてほしいから。

3位 「8 学校図書館への支援」 42.3%

- ・本離れしている子どもに本を読ませたい。子どもに本に触れる機会を増やす環境が必要。
- ・学校の図書がいつも同じではなく、図書館と連携して本が定期的に入れ替われば。

【問4】【問2】の1～14の項目以外に、今後県立図書館において必要又は充実させるべきサービス

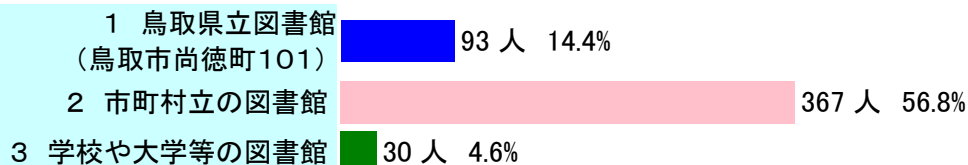
- ・本の種類の増加(多様性)、マンガの貸出
- ・視聴覚資料の充実、DVDの貸出
- ・映像資料が弱い。岡山県立図書館は利用しやすかった。
- ・開架にあるべき資料の見直し
- ・観光コーナーの充実
- ・ボランティア活動の案内コーナー設置
- ・ネットでの資料閲覧(電子データの提供、インターネットを使ったサービスの充実、ネットパソコン増設)
- ・延滞時の確認メールを送る機能の整備
- ・大学生の県立図書館利用の推進(大学レベルの学問に関わる資料の充実など)
- ・学生の学習を支援する設備(自習スペース)やサービスの充実
- ・キッズコーナーの設置(多少の会話や読み聞かせのできる場所、子どもが騒がしくしてもよい部屋、自由に遊べる広場、預けておける場所、託児コーナー)
- ・小さい子を乗せられるカートの設置
- ・0～3歳の子どもの喜ぶ絵本の充実
- ・子育て相談の実施
- ・保育園への司書出張
- ・職安と連携した仕事のスキルアップ及び育児が落ち着いてから働く準備を整えるコーナーの整備
- ・子どもから高齢者、障がいのある人へ本の魅力を伝える事業の開催
- ・老人介護施設との連携(介護される老人への図書の貸出など)
- ・インターネットを使ったビジネス起業、システム支援
- ・お金をかけなくても、スキルアップできるチャンスの窓口
- ・司書以外のいろいろな層の人による企画
- ・高齢者が企画運営に参画して事業を実施しては
- ・いろいろなワークショップの開催
- ・あらゆる年代でのブックトーク&カフェの開催
- ・家族で行ける講座、怖いおはなし会の開催
- ・遠隔地でも利用できるような仕組みの強化(郵送貸し出しサービスなど)
- ・県と市町村立図書館利用者カードの相互互換
- ・市町村立図書館間での貸し借りのネットサービス化
- ・駅、公民館などの公共施設での貸出図書の返却
- ・移動図書館、巡回サービス
- ・マイナンバーを活用しての読書通帳
- ・ブックポストに返すための車の駐車場への乗り入れを24時間OKにしてほしい
- ・駐車場の拡大
- ・駐車場側に出入り口を設置
- ・返却と貸出カウンターの導線がわかりにくい
- ・おしゃれなカフェの隣接誘致、カフェの内部導入
- ・個室、ソファコーナー等くつろげる空間の整備
- ・学生用の自習スペースの整備
- ・障がいのある人が利用しやすいように
- ・福祉用具の活用
- ・夏季の開館時間の延長
- ・広報の強化
- ・LINEスタンプのプレゼントなど、若者へのキャンペーンの強化
- ・ニーズ調査の実施

(参考)アンケート回答者の状況等について

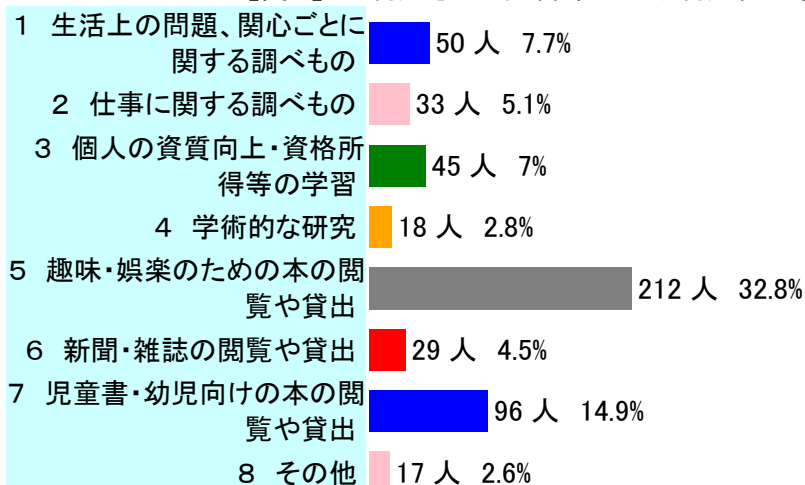
【問5】あなたは、最近(ここ2、3年くらいのうちに)県内の図書館を利用したことがありますか。



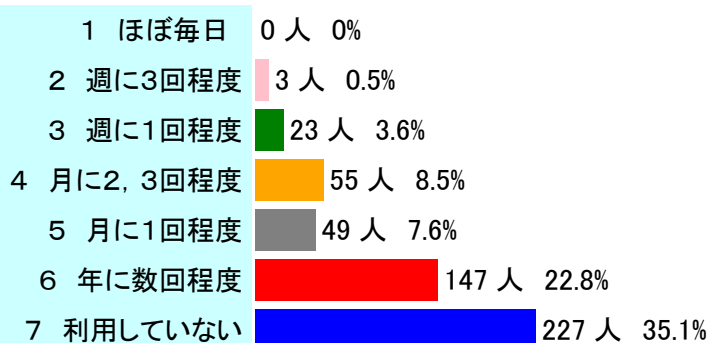
【問6】県内の図書館のうち、日ごろ一番よく利用される図書館はどちらの図書館ですか。
(前問回答「1 ある」と総数は合致しない。)



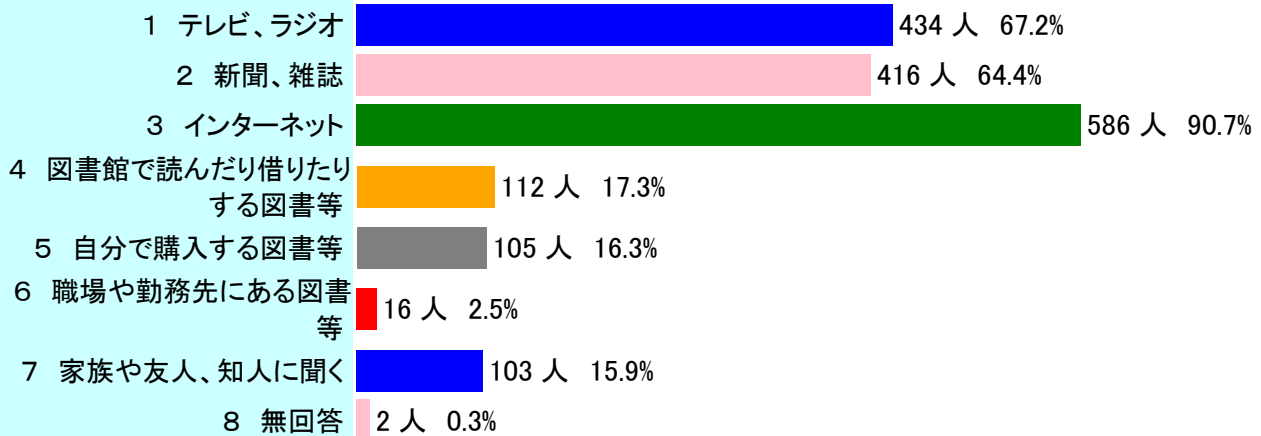
【問7】よく利用される図書館の主な利用目的を1つ選んでください。



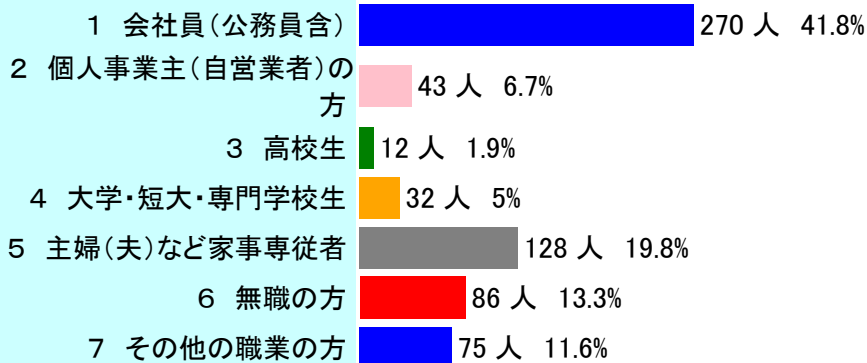
【問8】(ここ2、3年のうちに)鳥取県立図書館を利用したことがありますか。
利用回数の近いものを選択してください。



【問9】普段、仕事や生活に必要な情報の取得源は何ですか。3つまで選んでください。



【問10】結果の分析を行う際に必要となりますので、お手数ですがご職業等をお教えてください。

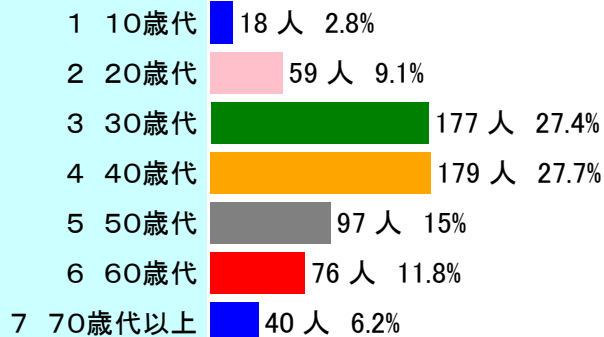


【回答者属性】

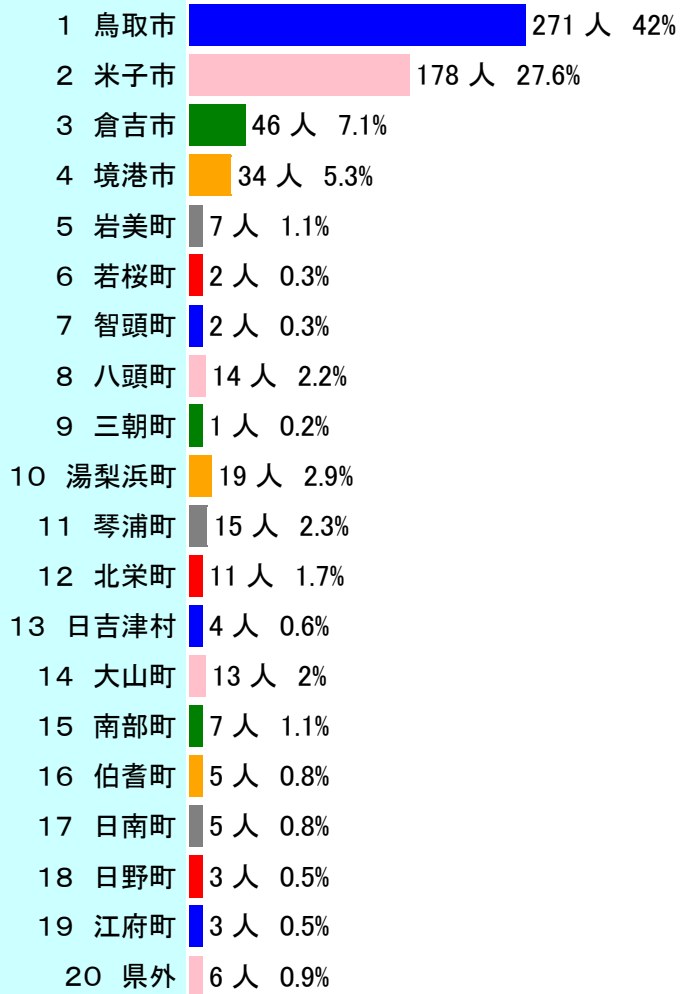
○性別



○年代



○お住まい



○居住地区

